



角川「俳句」1月号(新年号)に広告掲載予定!

句集 高天

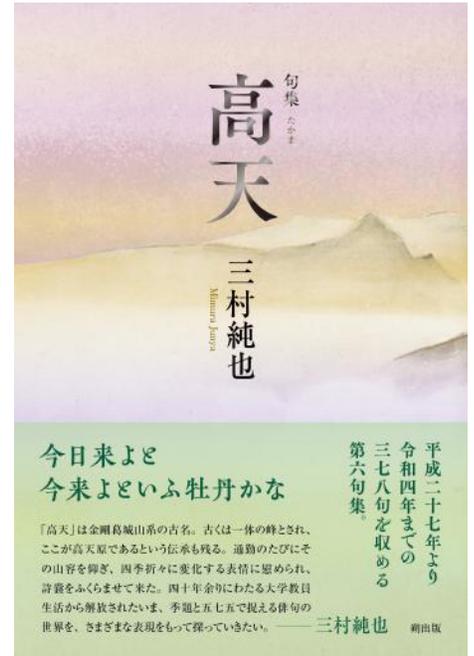
たかま

三村純也 著

詩歌文学館賞受賞から5年、 待望の第6句集!

「大学教授」と「俳人」という二足の草鞋から
放たれ、いよいよ俳句一筋の道へ。

高まる句ごころを軽やかに自在に表現する
三村純也最新作。今年度注目の一冊!



今日来よど
今来よどいふ牡丹かな

平成二十七年より
令和四年までの
三七八句を収める
第六句集

「高天」は金剛葛城山系の古名。古くは一体の峰とされ、
ここが高天原であるという伝承も残る。通勤のたびにそ
の山容を仰ぎ、四季折々に変化する表情に思われ、
評鑑をふくらませて来た。四十年余りにわたる大学教授
生活から解放されたいま、季節と五七五で捉える俳句の
世界を、さまざまな表現をもって探っている。——三村純也 朔出版

四六判 上製 220頁 定価: 2970円(税込10%)

〈作品抄〉

降りしきる雨の中なる初桜
何もせず何も起こらず春の昼
今日来よと今来よといふ牡丹かな
空蟬の目が見据ゑるる前世かな
さざ波となりつつ蛇の泳ぎ去る
人は失せピアノは残り原爆忌
風を呼ぶものばかり生け月の供華
ただ立つてゐる子がひとり赤い羽根
鱸酒に思はせぶりなことを言ふ
大晦日一円玉を拾ひけり

著者紹介◆三村純也(みむらじゅんや)

昭和28年、大阪船場生まれ。中世国文学・芸能史・民俗学などを専攻。
令和6年3月、大阪芸術大学を最後に大学教員生活を終える。
中学時代より俳句を始め、「山茶花」入会、下村非文に師事。その後、
清崎敏郎、稲畑汀子の指導を受ける。平成9年、「山茶花」主宰を継承。
句集に『常行』(俳人協会新人賞)、『一(はじめ)』(詩歌文学館賞)ほか。
俳人協会・日本伝統俳句協会評議員、大阪俳句史研究会代表理事等。

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者: JRC 宮尾)

ご注文申込書	貴店名・帳合	注文日	発行 朔出版 電話 03-5926-4386 FAX 03-6680-8133
		注文数	句集 高天 たかま 三村純也 著
		冊	四六判 / 上製 / 220頁 / 定価: 2970円(本体2700円+税10%)
	(ご担当者名:)		ISBN978-4-911090-20-6 C0092